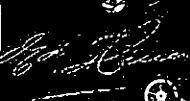


1860 - 1887



1964

1975

2004



TAGHeuer

SWISS AVANT-GARDE SINCE 1860

2010

150 PIONEERING SWISS WATCHMAKING
YEARS FOR 150 YEARS



TAGHeuer
SWISS AVANT-GARDE SINCE 1860

History begins every morning ...

EDITORIAL

はじめに

タグ・ホイヤー創業150周年を祝したカタログを皆様にお届けいたします。ホイヤー家は、過去4世代にわたってスイスの唯一無二の時計メーカーとしての技術・ノウハウを積み上げてきました。タグ・ホイヤーは1860年、スイス・ジュラ地方のサンティミエという小さな街に創業して以来、ビエンヌ市、そして現在のラ・ショードフォン市へと発展を遂げて参りました。

タグ・ホイヤーは今日、第5世代目を迎えています。タグ・ホイヤーは創業以来、世代から世代へと、精密な時間計測のためのタイムピースを開発・製造してきました。タグ・ホイヤーはその輝かしい伝統と技術革新により、今日最も高度なコンプリケーション機能である、クロノグラフの世界的リーダーとして広く知られています。

これは、1/100秒の計測と表示が可能な世界初の機械式クロノグラフをはじめとする、数々の機械式クロノグラフ・ムーブメントの完成により実証されています。

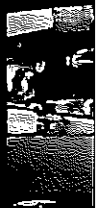
クロノグラフを統合した当社の新しいキャリバーが備えている《振動ピニオン》と《コラムホイール》は、創業以来、タグ・ホイヤーが時計製造史に打ち建ててきた数限りない金字塔を象徴しています。また150年におよぶパイオニアとしてのタグ・ホイヤーの情熱は、世界初のベルト伝達機構による機械式ムーブメント、Monaco V4に結晶しています。Monaco V4は、タグ・ホイヤーの創業以来の機械式時計製造における伝統と技術・ノウハウを、21世紀の今日に伝えるものといえましょう。

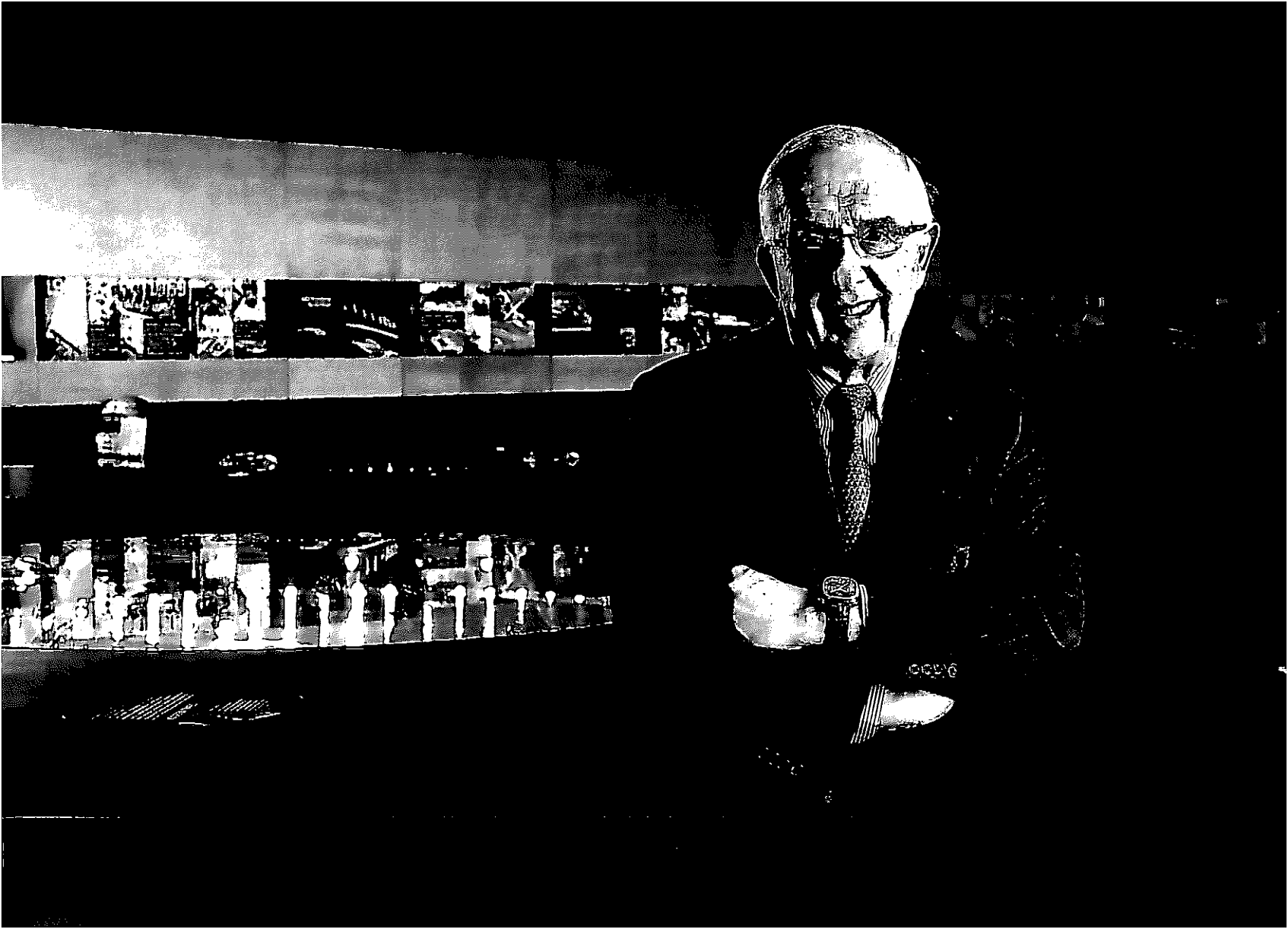
このタグ・ホイヤー創業150周年カタログのページを通じて、技術革新、完璧さ、そして精度を追求する、妥協を排した哲学の輝かしい成果であるタグ・ホイヤーのタイムピースを皆様にご紹介できることを誇りに思います。



Handwritten signature of Jack H. Heuriet.

タグ・ホイヤー名誉会長
ジャック・ホイヤー







THE TAG HEUER STORY

1860

20歳のエドワード・ホイヤー、スイスのジュラ山脈にあるサンティミエに時計工房を創設。

1869

エドワード・ホイヤー、それまで懐中時計の巻上げに用いられていた鍵に代わる、初のリュース巻き上げ機構の特許取得。

1887

エドワード・ホイヤー、今日でも主要時計メーカーの機械式クロノグラフに採用されている、《振動ピニオン》を発明し、特許取得。

1911

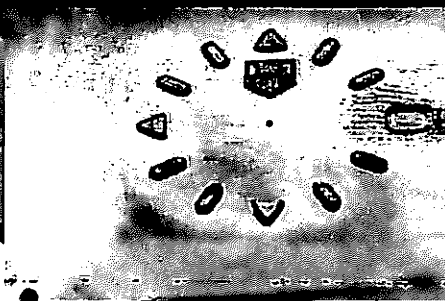
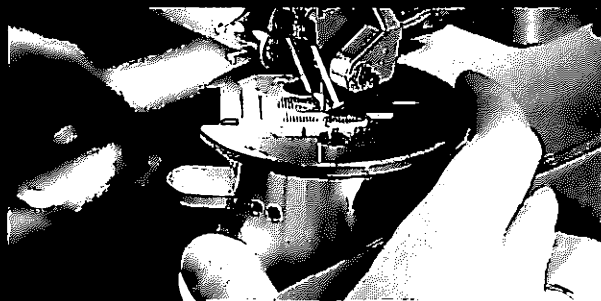
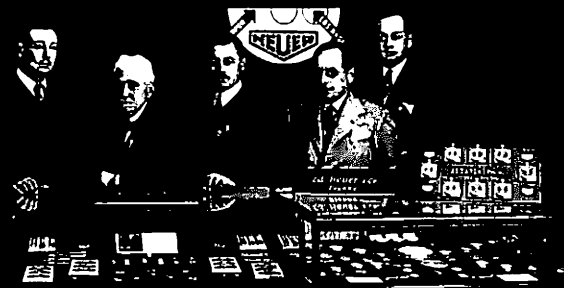
時刻と経過時間を表示する、自動車と航空機のための最初のダッシュボード・クロノグラフ、タイム・オブ・トリップ《Time of Trip》を発表。

1916

シヤルル・エドワード・ホイヤー、1/100秒の計測が可能な世界初のストップウォッチ、マイクログラフ《Mikrograph》とマイクロスプリット《Microsplit》を発明。次いで1/50秒の計測が可能なセミクログラフ《Semikrograph》とセミクロスプリット《Semicrosplit》を完成。

1950

潮の干満表示装置付クロノグラフ、マレオグラフ《Mareograph》の特許を取得、アメリカではシーファーラー《Seafarer》の製品名で発売。



1962

2月20日、米宇宙飛行士ジョン・グレン、《マーキュリー・ブレンドシップ7》号でアメリカ人として初めての有人宇宙飛行に成功し、地球を3周。ホイヤー製クロノグラフを濫用。タグ・ホイヤー、初めて宇宙飛行をしたスイス時計となる。

1964

ジャック・ホイヤー、1950年代の有名なロードレース《カレラ・パンアメリカーナ・メキシコ》へのトリビュートとしてクロノグラフ、《TAG Heuer Carrera》発表。

1966

ジャック・ホイヤー、1/1000秒の計測が可能な世界初の小型電子計時機器マイクロタイマー《Microtimer》発表。

1969

マイクロローター内蔵の初の自動巻クロノグラフ・ムーブメント、クロノマティック Calibre 11《Chronomatic Calibre 11》を発表。オタヴィア《Autavia》、カレラ《Carrera》、モナコ《Monaco》に同時搭載。9時位置のリユーズが特徴。

同年、クロノマティックを搭載し、防水機能を備えた世界初の角型ケースを採用した自動巻クロノグラフ、モナコ《Monaco》を発表。

1974

シルバーストーン・クロノグラフ《Silverstone Chronograph》を発表。

1982

《2000》シリーズを発表。タグ・ホイヤーのスポーツ・スピリットを完璧に体現した《2000》シリーズは、プロフェッショナル・スポーツウォッチとしての次の6つの特徴を備えていた。20気圧（水深200m）防水性、逆回転防止型ベゼル、夜光付インデックス指針、ねじ込み式リユーズ、二重安全

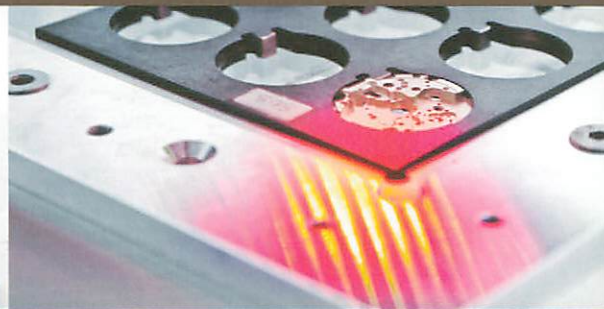
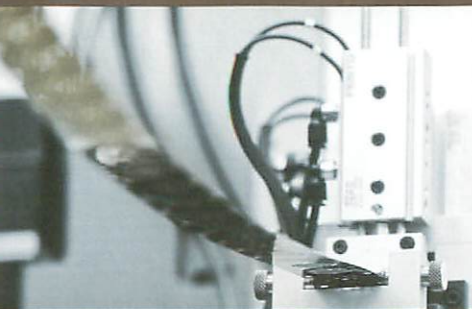
止め金具付プレスレット、傷のつきにくいサファイヤクリスタルの風防。

1986

スチールとガラスファイバーを融合させたタグ・ホイヤーフォーミュラ1《TAG Heuer Formula 1》を発表。

1987

美しさと機能性を融合したユニークなスポーツウォッチ、リンク《Link》シリーズを発表。



1992

この年から2003年までF1ワールドチャンピオンシップ公式計時を担当。

2003

1/1,000秒の計測を初めて実現した革命的なスイス製リストクロノグラフ、マイクロタイマー《Microtimer》を発表。

アンバサダーにシャー・ルク・カーンを起用。

2004

世界初の革命的なコンセプトウォッチ《Monaco V4》をバーゼルワールドで発表。

伝統的な機械式手巻ムーブメントとデジタル・クォーツクロノグラフムーブメントを搭載した、初のリバーシブル・クロノグラフ《Monaco Sixty Nine》がジュネーブ時計グランプリのデザイン部門で優勝。

有名なインディ500などIRL（インディ・レーシング・リーグ）の主催するカーレースの公式計時を担当。

タグ・ホイヤー・アンバサダーにF1ドライバー、キミ・ライコネンを起用。

2005

新しいブランド・アンバサダーとしてユマ・サーマン、ブラッド・ピット、マリア・シャラポワを起用。

1/100秒の計測と表示が可能な世界初の機械式クロノグラフリストウォッチ、コンセプトクロノグラフ《Calibre 360》を発表。

2007

モーターレーシングとGTカーのスピリットにインスパイアされたタイムピース・コレクション《TAG Heuer Grand CARRERA》を発表。従来の指針に代わり、きわめて視認性の高い回転するディスクと表示窓により表示を行う、世界初のローテイティングシステム表示自動巻ムーブメント《Calibre RS》を搭載している。

2008

《TAG Heuer Grand CARRERA Calibre 36 RS Caliper》クロノグラフ、ジュネーブ時計グランプリの《スポーツウォッチ》部門で優勝。

ラ・ショードフォン市のタグ・ホイヤー本社にタグ・ホイヤー360ミュージアムが開館。300以上のモデルを通してタグ・ホイヤーの150年にわたる歴史を目の当たりにすることができる。

ラグジュアリーな携帯電話《MERIDIIST》とアクセサリ・コレクションを発表。

デザインにおいても、テクノロジーにおいても技術革新の先端を指し示し、タグ・ホイヤーの輝かしい150年にわたる時計製造技術・ノウハウを体現。世界を飛翔する現代人のためのラグジュアリーなスイス初のコミュニケーション機器、MERIDIISTは、タグ・ホイヤーの新たなマイルストーンである。

タグ・ホイヤーのプレステージ溢れるアンバサダー、ルイス・ハミルトン、F1ワールド・チャンピオンの座を獲得。

2009

タグ・ホイヤー、ニューモデル《Aquaracer 500M》と、コンセプトクロノグラフ《Monaco Calibre 360》にインスパイアされた《Monaco LS》を発表。

レオナルド・ディカプリオをタグ・ホイヤー・アンバサダーに起用。

2010

タグ・ホイヤー創業以来150年にわたるクラフツマンシップ、ハイパフォーマンス、卓越性が結実した、自動巻クロノグラフ、キャリバー1887を発表。タグ・ホイヤーとテスラ・ロードスターによる、15都市を巡り、150都市をまたにかけて3万7,000kmを走破する、100%エレクトリック・カーによる初の世界一周トリップ《The Odyssey of Pioneers》がスタート。

バーゼルワールド2010にて、ヒゲゼンマイを不要にした革命的な機械式ムーブメント《TAG Heuer pendulum》発表。

ル・マン24時間レースでアウディとのパートナーシップを締結。

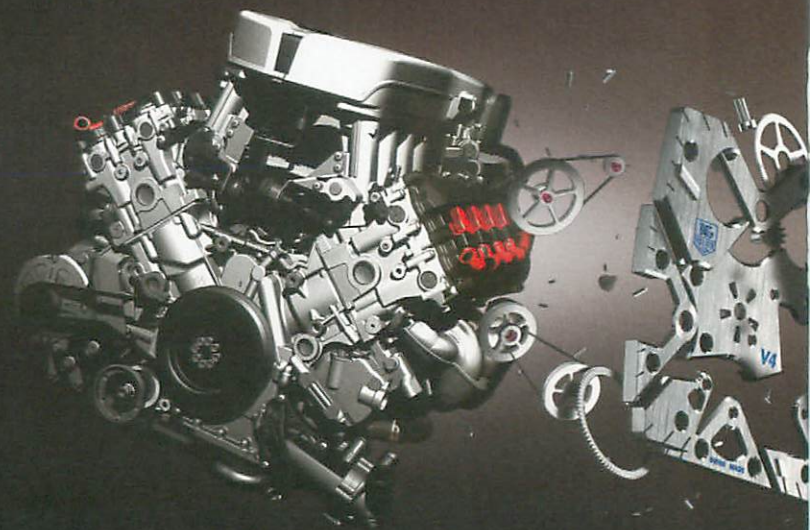
2009年F1ワールド・チャンピオンのジェンソン・バトンタグ・ホイヤー・アンバサダーに起用。バトンは今年、マクラーレン・メルセデス・チームに移籍し、ルイス・ハミルトンと共に活躍する。

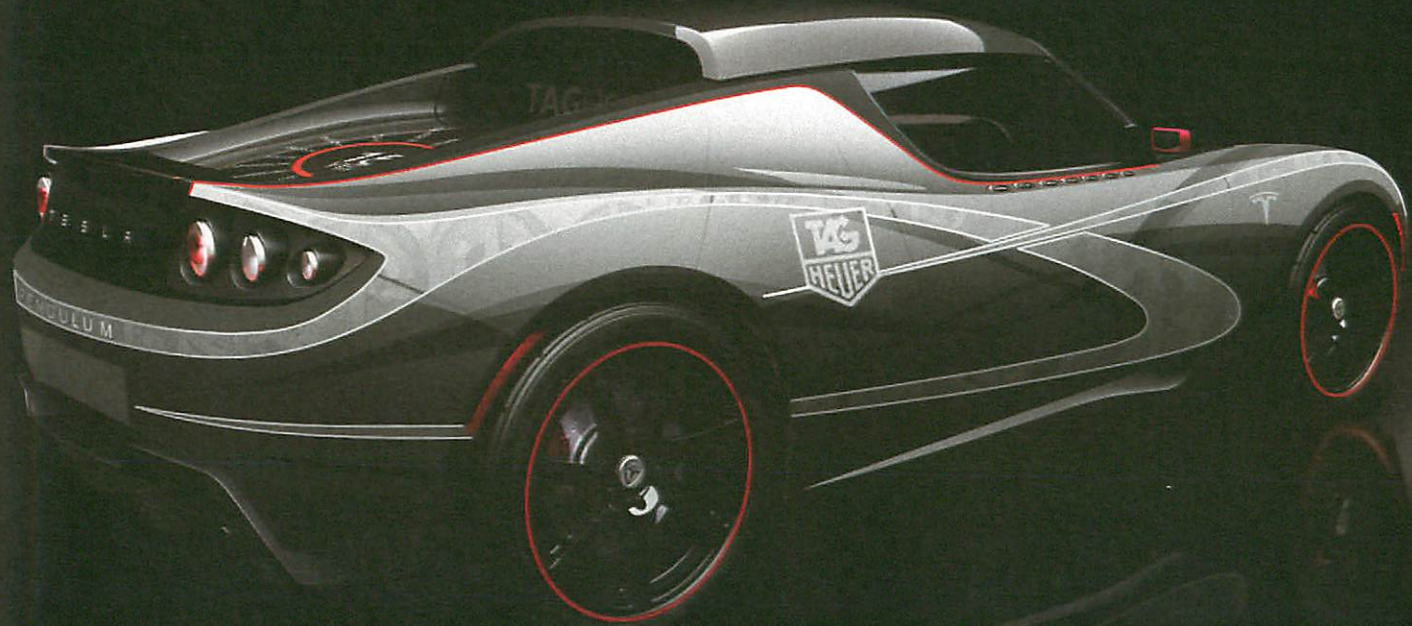


MONACO V4

BREAKING THE RULES OF THE SWISS WATCHMAKING HISTORY

2004年、タグ・ホイヤーは、コンセプトウォッチ・モナコ V4 を発表して世界を驚かせました。スポーツカーのエンジンからインスパイアされたモナコ V4 は、従来の歯車に代わり、革命的なベルト伝達機構とボールベアリングを搭載していました。タグ・ホイヤーは今年、創業 150 周年を記念し、150 本限定生産の初のプラチナ製モナコ V4 を実売モデルとして発売します。2つの特許を取得したこのタイムピースは、1970年、スティーブ・マックイーンが映画《栄光のル・マン》で着用して以来広く世に知られることとなった、タグ・ホイヤーの伝説的なスクエア型クロノグラフ、モナコの進化におけるまったく新しいステップといえることができるでしょう。40年後の今年、この革命的なモナコ V4 は、タグ・ホイヤーの圧倒的な強みを象徴し、時計製造における技術とデザインの新たなベンチマークとなることでしょう。





THE ODYSSEY OF PIONEERS

タグ・ホイヤー&テスラGT電気自動車による、初の世界一周トリップ



CAV511E FC6231